

クラス番号	634	担当教員名	山田 壮志郎
テーマ	貧困問題の視点から社会保障のあり方を考える		
著書・論文	研究課題：ホームレス問題を中心とする貧困問題の実態分析／貧困問題を解消しうる社会保障とりわけ公的扶助制度のあり方		
研究課題等	著 書：山田壮志郎『ホームレス支援における就労と福祉』明石書店、2009 年 渋谷哲編『低所得者への支援と生活保護制度』みらい、2009 年（共著）		

ゼミナール概要

キーワード：貧困、ホームレス問題、社会保障、生活保護、福祉事務所

【目的】

今日、日本において貧困問題が深刻化しています。生活保護受給者は伸び続け、自殺者も年間 3 万人を超え続けています。貧困問題の解消は、歴史的に見ても社会保障・社会福祉の原点であり、その最終的なセーフティネットと位置付けられているのが公的扶助制度です。まさに公的扶助の出番ともいえる状況にあります。現実の公的扶助制度は貧困問題の解消に必ずしも十分寄与できているとは言えません。

本ゼミでは、①現代日本における貧困問題がどのような現状にあるのかを学ぶこと、②そうした貧困問題を解消していくためにはどのような社会保障制度（とりわけ公的扶助制度）が求められているのかを考えることを目的とします。

貧困問題といっても多様な問題がありますが、本ゼミではホームレス問題を切り口にします。また、社会保障にも多様な領域がありますが、本ゼミでは生活保護制度を切り口にします。その上で、ゼミ生の個々の関心に基づき「貧困問題の視点からみた社会保障のあり方」を深め、4 年次の卒業論文にまとめます。

【学習目標】

卒業後どのような分野で働くにせよ、社会福祉の専門家となるためには（あるいはそうでなくても）、貧困問題へのまなざしは不可欠です。一人ひとりのゼミ生が、自分なりの視点で貧困問題に関心を持つ力を身につけられるようになることを目指します。

【方法・計画】

本ゼミでは、「貧困問題の視点から社会保障のあり方を考える」ために、フィールドワークと文献講読を 2 本柱として学習を進めます。

3 年次前期は、貧困問題の現状を学びます。前半は、フィールドワークとして、日本最大の日雇労働者の街である大阪・釜ヶ崎地区への視察と事前・事後学習が中心となります。後半は、貧困問題の現状に関する基本的なテキストを用いた文献講読を中心に学習を進めます。

3 年次後期は、公的扶助制度の現状を学びます。前半は、フィールドワークとして、低所得者領域の施設・機関（福祉事務所、ハローワーク、生活保護施設、ホームレス支援団体等）への視察と、その事前・事後学習が中心となります。後半は、生活保護制度の現状に関する基本的なテキストを用いた文献講読が中心となります。

4 年次は、個々の関心に基づく卒業論文の執筆作業と、社会福祉士の国家試験対策を行います。ただし、卒業論文の準備は 3 年次の段階から徐々に行い、3 年次の春休みには卒論執筆に向けた春合宿を行います。

担当教員からのメッセージ



一緒に楽しいゼミを作りましょう。ゼミは、学生の主体的参加が不可欠です。遅刻・欠席をしない人、積極的に発言できる人、意欲を持って学べる人を希望します。

上記の春合宿は、今年度は 2 月 12 日～13 日におこないます。1 年後の自分の到達点をイメージするため、新ゼミ生も参加してください。詳細は、所属決定後に学籍番号メールアドレスを通じて連絡しますのでチェックしておくようにしてください。

エントリーシートには、①貧困問題の中でも特に関心のあるテーマとその理由、②現段階での希望進路とその理由の 2 点を含めて記載してください。